

青少年育成委員会

委員長 三角 太作
副委員長 岩上 健太郎
運営幹事 宮脇 佳亨
委員 鬼束 麻里 ・ 川江 真史 ・ 米吉 茂著
坂元 謙一郎 ・ 枇杷木 由香理 ・ 丸山 亮馬

【基本方針】

近年、青少年を取り巻く環境は、偏差値至上主義、規範意識や体力の低下等、これまで見られた問題が深刻化すると共に、新たな課題が絡み合い、より複雑化しています。我々は、未来を担う青少年を地域で育てるために、教育現場のみに依存するのではなく「生きる力」の育成を基軸としながら、郷土に住まう大人として、社会的背景、現状や進展を紐解き、感動の機会を創出することによって、発展的継続性のある循環を生み出す必要があります。

そのために、青少年に身につけさせたい「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力で、まずは、知識や技能の習得に限らず、自己肯定感を呼び起こす機会を創出し、自発的な意欲の増進や主体的な行動を引き出し「確かな学力」を育成するための基盤を整え、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な、基本的な資質の向上を図ります。次に、青少年の心を磨き、たくましく生きるための「豊かな人間性」「健康・体力・気力」を育成するために、第10回の節目を迎えた「きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会 in 都城」との新たな関わり方を構築し、苦難に挑戦する大切さや体力づくりの楽しさを実感させながら、達成感や忍耐力、協調性や感謝の心を育む機会を支援します。そして、青年会議所活動が社会的共感と信頼を獲得し得る存在として在り続けながらも、更なる発展を遂げるために、青少年育成への社会的取り組みや、そこから見える課題や進展と向き合う機会を創出し、問題意識を共有することで、日常的に青少年を育成するJAYCEEへと深化し、先人が紡いだこの地を、我々の手で未来へつなぐ契機とします。

ひとづくりとは、人を育てるにとどまらず、次世代社会の形成に大きな影響を与えます。青少年が積極的な変革を創造し開拓するため、能動的に活動できる機会の創出が、我々の使命であり、「生きる力」を育むことは、明るい豊かな社会の実現へと繋がるのです。

【事業計画】

1. 青少年育成例会の実施（2例会）
2. 「きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会 i n 都城」への協力支援窓口
3. 京都会議への参加企画
4. いきいき大淀川クリーン大作戦への協力支援窓口
5. 創立55周年事業への参画（記念式典部会）
6. 日本本会・九州地区協議会・宮崎ブロック協議会、及び出向者への協力支援
7. 共催事業への協力支援
8. 会員拡大 [最重要]

【予 算】

1. 青少年育成例会①の実施費（その他の事業）	54,000円
2. 青少年育成例会②の実施費（公益事業）	1,572,000円
3. <u>きりしまんぢだジュニアトライアスロン大会 i n 都城協賛金</u>	<u>200,000円</u>
合 計	1,826,000円